

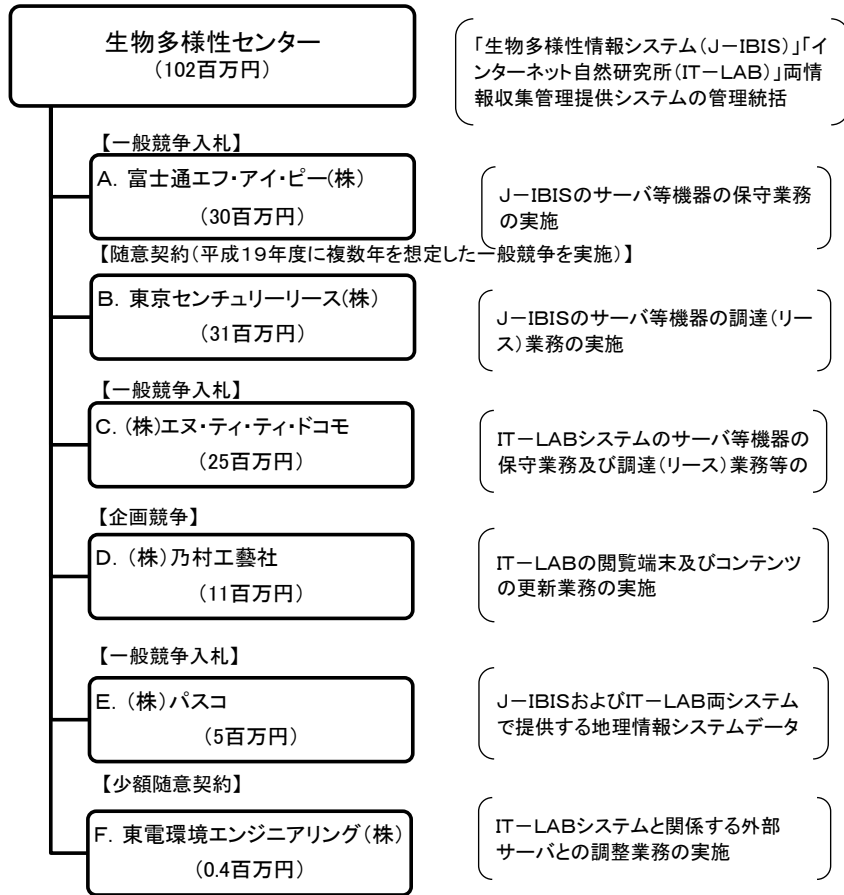
平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	地球規模生物多様性情報システム整備推進費	担当部局庁	自然環境局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成6年度	担当課室	生物多様性センター			センター長 奥山正樹	
会計区分	一般会計	施策名	5-1 基盤的施策の実施及び国際的取組				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	自然環境保全法第4条 生物多様性基本法第22条、第24条	関係する計 画、通知等	生物多様性国家戦略2010				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	環境省の自然環境基礎調査成果をはじめとする生物多様性保全に関する情報を、収集、管理し、インターネットを介して広く提供し、多様な主体で共有することにより、生物多様性保全への活用を図るための情報システムの維持運営を行う。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	自然環境保全基礎調査の成果をはじめとする生物多様性保全に関する情報を、収集・管理し、インターネットを介して広く提供する生物多様性情報システム(J-IBIS)及び、全国各地の様々な自然情報を幅広く提供し、自然環境学習の教材としても利用できるインターネット自然研究所(IT-LAB)のシステムを管理・運営(システム機能改良やコンテンツ作成等も含む)を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	107	105	103	96	96
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	107	105	103	96	96
	執行額	97	104	102			
執行率(%)	91%	99%	99%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	システムの改良や提供する情報の充実を図り、閲覧件数を増加させることを目標とする。	成果実績	件	月平均アクセス件数 J-IBIS 10万件 IT-LAB 112万件	月平均アクセス件数 J-IBIS 12万件 IT-LAB 114万件	月平均アクセス件数 J-IBIS 13万件 IT-LAB 106万件	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	自然環境情報の収集、管理、インターネットを介する提供が常時可能となるよう、システムの運用を継続する。	活動実績 (当初見込み)	運用率	99%	99%	98%	— (99%(停電時を除き、常時運用))
単位当たり コスト	—	算出根拠	—				
平成23 - 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	自然環境保全調査費	96百万円	96百万円				
	土地建物借料	0.04百万円	0.041百万円				
	計	96百万円	96百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>自然環境保全基礎調査の成果をはじめとする生物多様性情報の収集・管理・提供を行う情報提供システム及び全国各地の自然情報を提供するシステムについては、これまで相当数のアクセスがあり、自然環境情報の提供に大きな効果あげてきており、今後とも当システムの維持により一層の情報提供を行う必要がある。</p> <p>本事業についてはそれぞれ請負契約に基づき実施しており、請負業者が事業を履行するにあたっては、環境省の監督職員の指示に基づき事業を遂行するとともに、事業結果等の成果品により検査職員が適正に履行されたことを確認している。</p> <p>各請負契約の実施にあたっては、一般競争入札等の価格競争により実施しているものであり、予算の範囲内で十分な成果を上げているが、引き続き競争性のある契約を実施するとともに、インターネット自然研究所のライブカメラについて、維持経費の軽減を図れる機器への更新を進めより効率的なシステムの維持運営に努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き効果的な事業実施に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金額
 が支出されている者
 について記載する。
 費目と使途の双方
 で実情が分かるよう
 に記載)

A. 富士通エフ・アイ・ピー(株)			E. (株)パスコ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	システム保守業務	30	雑役務費	GIS活用促進業務	5
計		30	計		5
B. 東京センチュリーリース(株)			F. 東電環境エンジニアリング(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	システム機器一式借上	31	雑役務費	情報収集補助業務	0.4
計		31	計		0.4
C. (株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	システム保守等業務	22			
雑役務費	情報整理業務	2			
雑役務費	画像系サーバ電子計算機一式借上	1			
計		25	計		0
D. (株)乃村工藝社					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	情報閲覧端末更新業務	11			
計		11	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通エフ・アイ・ピー(株)	平成22年度生物多様性情報システム等業務	30	1	98.6

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京センチュリーリース(株)	平成22年度生物多様性情報システム等計算機一式借上	31	随意契約	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ	平成22年度インターネット自然研究所システム保守業務	22	1	99.8
2		平成22年度インターネット自然研究所情報整理業務	2	1	98.9
3		平成22年度インターネット自然研究所画像系サーバ電子計算機一式借上	1	随意契約	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)乃村工藝社	平成22年度インターネット自然研究所情報閲覧端末更新業務	11	企画競争	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)パスコ	平成22年度GIS活用促進業務	5	1	94.2

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東電環境エンジニアリング(株)	平成22年度インターネット自然研究所情報収集補助業務	0.4	随意契約	—